

令和元年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告書 (紫桐苑短期入所生活介護事業所含)

特別養護老人ホーム紫桐苑においては、入所者一人ひとりの人権と生活を尊重し、「自分らしい生活」を実現するための支援が施設サービスの基本と位置付けて取り組みました。

また、事業の実施にあたっては、地域における介護施設としての存在と役割を認識し、基本的な支援の水準を常に維持すること、地域及び地域住民との親しみある関係を築くこと、福祉人材の育成に寄与することが総合的に果たせることを目指して取り組みを進めてきました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

(2) 事業規模

特別養護老人ホーム : 定員 50 名

短期入所生活介護 : 定員 10 名

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めることから、利用者への嗜好調査を実施して得られた意向を反映しつつ、個々の食形態や健康状態に応じた栄養管理を行って健康に過ごせるよう努めました。また、安全な食事を提供するために調理環境の衛生保持に努め、調理職員の細菌検査、厨房内消毒を月 1 回実施しました。

② 入浴

入浴回数は、原則として一人につき週 2 回行い、更に本人の希望により入浴できるよう月曜日から土曜日まで入浴を実施しました。また、体調の都合で入浴できない場合においては清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

おむつ交換は、定時交換 4 回及び随時の個別確認、ケアコール対応により実施しました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思や意向を確認しつつ、自由で自分らしい生活が送られるよう、声掛けをしてサポートすることに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

施設における人と人のふれあいの場として、毎月の誕生会、節句や季節に応じた諸行事を実施しました。また、意向調査を行い、利用者の意向を踏まえつつ身体機能の維持増進に役立つ趣味活動を考え、週 2 回のペースで活動を実施しました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組むことができました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおい

ては、定期的な検証と経過観察をして対応することに努めました。

⑦ 事故防止・リスク軽減

施設で起こりうる事故を未然に防ぐための定期的な会議をもち、また、発生した事象については、再発防止のための早急な対策会議をもって利用者の事故・リスク軽減に取り組みました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期又は随時のサービス担当者会議をもち、入所者家族と多職種間の連携をもって取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス担当者会議	11	9	8	15	4	8	10	9	7	14	7	10	112

(3) 健康管理

入所者一人ひとりが心身ともに健康で充実した日常生活が送られるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（水曜日）、健康診断を実施して健康管理を行いました。また、季節性インフルエンザやノロウイルスの対策に加え、新型コロナウイルス感染症への対応が必要になったため、平常時から実施している標準予防策を徹底しつつ、施設内へのウイルスの流入を防止するため家族の面会を中止する措置を行いました。更に、職員は1日3回の体温の計測とこまめな健康状態の観察及び私生活での不要不急の外出の自粛をもって感染症対策に取り組みました。

実施日	概要
6月10～21日 (10日)	入所者歯科検診実施（49名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
7月3、10、17、24日	入所者健康診断実施（50名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
11月6、13、20、27日	入所者インフルエンザ予防接種実施（51名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※職員インフルエンザ予防接種実施 11月1日～15日

(4) 口腔ケアの推進

入所者個々の口腔内状態の維持及び向上、誤嚥性肺炎予防・感染症予防並びに口臭を防止することを目的とし、新里診療所歯科医との連携をもって食前・食後の口腔ケアに努めました。連携して取り組んだ内容としては、入所者全員の歯科検診（年1回）、歯科衛生士の個別指導による口腔ケア（週1回、計39回）を実施しました。

(5) 生活環境への配慮・衛生管理

介護用ベッド・業務用洗濯機等を更新し、更に施設内の全ての照明のLED化をもって安心安全に生活できる環境の整備を図りました。また、施設内の装飾や掲示物を工夫して季節感や楽しみをもてる景観作りに努めました。衛生管理面では、加湿機能付空気清浄器を設置して湿度の維持、オゾン除菌脱臭機でのくん蒸消毒を行い、環境衛生の保持に努めました。

(6) 会議

施設の運営及び管理、支援に対する方針の統一を図るため、各種の会議体を設置し、定期的な検証と検討をもって事業の推進を図りました。また、法人各事業所の職員で委員会を構成し、労働災害対策、危機管理、感染症対策、広報活動、内部研修、サービス評価については法人単位で取り組みました。

(7) 専門組織及びチーム活動

入所者の生活支援の向上と充実を図るため、リスクマネジメント委員会を設置し、各職種の代表によってPDCAサイクルでの活動を展開しました。また、介護係における諸課題の解決、グ

ループケアの推進を図るため、口腔ケア担当、行事・レク担当、事故・ヒヤリ防止担当、ショート担当、介護用品等管理担当のチームでの活動も展開しました。

(8) 職員研修

介護支援の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、施設内での内部勉強会を延べ13回実施しました。また、外部で開催された研修会へ46回、延べ56名が参加しました。

実施日	内部研修概要
6月3、4日	新人職員研修「法人のサービス概要等」
6月6日	第1回スキルアップ勉強会「身体拘束廃止について」「介護保険制度について」
7月22日	中堅社員研修「リーダー職員研修」※他法人と合同開催
7月25日	第2回スキルアップ勉強会「食中毒について」「正しい手洗いの手順について」
8月19、21日	医療的ケア研修会「喀痰吸引」
9月24日	中堅社員研修「リーダー職員研修」※他法人と合同開催
10月3日	第3回スキルアップ勉強会「リスクマネジメントについて」外部講師；損保会社職員
10月10日	リスクマネジメント勉強会「正しいトロミの作り方」外部講師；食品会社職員
11月21日	第4回スキルアップ勉強会「感染症・インフルエンザについて」「正しい吐物処理について」
11月27日	介護手技勉強会「紙おむつの上手な使い方」外部講師；製紙会社職員
1月30日	第5回スキルアップ勉強会「危険予知訓練(KYT)について」

(9) 防災対策

火災予防のため、また、自然災害の発生時に入所者と職員が一体となって行動が取れるよう防火・防災対策を計画し、編成している自衛消防隊により避難訓練を実施しました。

実施日	避難訓練概要
10月11日	第1回自衛消防避難訓練（火災想定）宮古消防署新里分署立会い 宮古社協新里センター職員参加
3月23日	第2回自衛消防避難訓練（夜間の火災想定）図上訓練 職員のみ

(10) 交流・ボランティア及び実習の受入れ

地域住民とのふれあいや交流の機会がもてるように努めました。具体的には、新里保育所との定期的な交流、新里地区の小中学校との交流及び体験学習への講師派遣、職業体験の受入れ、インターンシップの受入れ、地域行事への参加や見学等を行いました。また、各種の選挙では施設内で不在者投票を実施しました。

実施日	行事概要	実施日	行事概要
4月19日	新里小学校6年生新里太鼓披露(紫桐苑)	8月18日	茂市熊野神社例大祭神輿来苑(紫桐苑)
5月25日	新里小学校運動会見学(新里小学校)	8月21日	新里中学校福祉体験学習講師派遣(新里中学校)
6月6日	新里保育所交流会(紫桐苑)	8月27日	新里中学校福祉体験学習講師派遣(新里中学校)
6月21日	新里小学校4年生施設見学(紫桐苑)	9月17日	新里中学校職業体験学習受入(紫桐苑)2日間
7月4日	新里保育所交流会(紫桐苑)	9月20日	敬老会開催(紫桐苑・デイサービス合同)
7月30日	宮古高校インターンシップ受入(紫桐苑)	11月5日	新里小学校4年生交流学習(紫桐苑)
8月2日	納涼祭(紫桐苑・桐の花)	11月24日	もいちの秋祭り見学(茂市区)
8月7日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)	12月17日	新里小学校4年生交流学習(紫桐苑)
実施日	不在者投票概要		
7月18日	第25回参議院通常選挙	投票実施者	7名
9月3日	岩手県知事選挙	投票実施者	3名

3 利用者の状況

(1) 紫桐苑長期入所者

① 年齢状況

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	0	2	0	3	1	3	3	1	0	13
女	0	0	2	3	9	9	4	7	1	35
計	0	2	2	6	10	12	7	8	1	48
比率(%)	0.0	4.2	4.2	12.5	20.8	25.0	14.6	16.7	2.1	100.0
平均男性 82.5歳 平均女性 87.1歳 全体平均 85.9歳 最高 101歳 最低 69歳										

② 在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男	0	5	3	4	1	0	13
女	6	9	10	7	2	1	35
計	6	14	13	11	3	1	48
比率(%)	12.5	29.2	27.1	22.9	6.3	2.1	100.0
平均男性 4年5ヶ月 平均女性 4年2ヶ月 全体平均 4年3ヶ月							
最高男性 11年10ヶ月 最高女性 18年9ヶ月							

③ 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	6
退所者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	7
月末 在所者数	男	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	—
	女	37	37	37	38	38	38	38	37	37	37	36	35	—
	計	50	50	50	51	51	51	51	50	50	50	49	48	—
退所者の平均在所期間 4年5ヶ月														

④ 新規入所者の入所前状況

	男	女	計
自宅	0	2	2
医療機関	0	2	2
老健他	0	2	2
計	0	6	6

⑤ 退所者の退所後状況

	男	女	計
死亡	0	7	7
長期入院	0	0	0
計	0	7	7

⑥ 介護度区分状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	8	4	13
女	0	0	6	15	14	35
計	0	0	7	23	18	48
平均男性 4.23 平均女性 4.23 全体平均 4.23						

⑦ 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会者	168	184	152	148	235	133	148	137	166	50	2	2	1,525

⑧ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
苦情等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 紫桐苑短期利用者

① 利用状況

	利用者数	最高齢	最年少	平均
男	12	95歳	70歳	82.3歳
女	63	102歳	51歳	88.8歳
計	75	—	—	87.8歳

実施日数	366日
利用者延人数	3,018人
1日あたりの利用者数	8.2人

② 介護度区分状況

	男	女	計
要支援1	1	0	1
要支援2	0	0	0
要介護1	0	9	9
要介護2	3	19	22
要介護3	5	14	19
要介護4	3	16	19
要介護5	0	5	5
計	12	63	75